



川合 滋 足立 よしえ

# 皆様の笑顔と幸せのために 喜んで働きます!

日頃よりご支援いただきありがとうございます。  
市政報告をお送りいたします。

長引くコロナ禍とロシアによるウクライナ侵攻で世界の様子が一変しました。そのような中、名張市議会は解散し市長選と同日で選挙を行い、我が会派『喜働』はそれぞれ7期目3期目を迎えました。心新たに議会活動を行っていた矢先の安倍元首相の殺害事件。今の日本が抱えている問題が顕著に表れた事件とも思える民間人による銃撃事件。日本の基礎・基盤から立て直さなければならない時がきたのではと考えさせられます。

目の前の課題はもちろんですが、50年先、100年先も見据えた政策を考えていきたいと思ひます。今後とも皆様の貴重なご意見をお待ちいたしております。

2022年3月議会

## 農業政策

Agricultural policy



### 現状

農業従事者の高齢化、担い手不足、稼げにくい農業の現状、耕作放棄地の増加、それに伴う獣害など、農業の課題は山積し、深刻化するばかりです。

Q. ①地産地消を目指した農業振興、②担い手確保のための農業機械の共有、③減農薬・減化学肥料を使ったオーガニック的な作物の栽培などについて市の考えをお聞かせ下さい。

A. 名張循環型農業を進めてはどうか。名張で作ったものを名張の人が食べ、その一般廃棄物を更に肥料化して、それをまた農地に還元していく。そこでまた新たな作物を作る名張循環型農業をうまく使ってPRすれば、循環型農業として名張自体を全国にPRすることが出来るのではないかと考えます。コンパクトシティだからこそ取り組みやすく、それを実行していく施策を市としても頑張っていきたい。(森上副市長答弁)

4:32:50頃から

### 要望事項

農林水産省から本市に出向いただいたのは2年間でしたが、利用権設定した固定資産税の減免にも着手され、耕作放棄地対策にご尽力された森上前副市長の意思を引き継ぎ、是非、名張循環型農業を進めていっていただきたいと思ひます。

YouTube

名張市議会  
川合 滋 一般質問



令和4年3月第403回定例会

※循環型農業は、人間の活動が自然環境に悪影響を与えずその活動を維持できるように、更には長期間に渡って実施し続けられることを目指すものです。持続可能な社会の実現を目指したSDGSの考え方にも当てはまります。

2022年6月議会

## 有機農業拡大への取組



### 現状

農林水産業のグリーン化を通じた成長産業化の実現の中で、生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を本年5月に国は策定しました。「農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現」「輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減」「耕作面積に占める有機農業の取組面積の割合を2050年までに25%(100万ha)に拡大」などの目標が掲げられました。

Q. 第3次名張市農業マスタープランでは環境にやさしい農業の推進として、有機栽培や自然栽培などで野菜や稲を生産する環境保全型農業がありますが、現状はどうなっていますか？

A. 国の環境保全型農業直接支払事業を活用し、令和3年度の実績として農業者グループが約10.7haの農場で有機農業に取り組みられました。本年度も昨年とほぼ同規模で行う予定。

4:22:50頃から

### 要望事項

本年度より策定された「みどりの食料システム戦略」のモデル事業に手を挙げ、予算確保しながら新たな循環型還元農業の取組を本市で進めていただきたい。また地元農産品の売り先として中学校給食センターも検討いただき、稼げる農業を目指していただきたい。

YouTube

名張市議会  
足立よしえ一般質問



令和4年6月第404回定例会

2022年6月議会

## 農地中間管理事業の推進



### 現状

農林水産省が出している農林水産政策改革の加速化に向けた取り組みの中に「農地の集積・集約化」の課題が記載されております。

**Q.** 第3次名張市農業マスタープランでは、多彩な担い手が活躍する“なばり農業”として持続的な営農体制・営農支援体制の構築として、「担い手への農地の集約面積目標」と「人・農地プラン策定数の目標」をそれぞれ掲げています。県の事業の農地中間管理事業も含め現状をお聞かせ下さい。

**A.** 5年後、10年後の農業の在り方や農地を将来へ繋いでいく人農地プランは、現在8地区が策定済み。詳細なアンケート調査を実施するなど策定に向けた具体的な取り組みを行っている地区が5地区あります。令和2年度時点の農地集積率は16.8%で三重県平均41.6%を下回ります。中山間地での集積が進みにくいことや、農地の出し手が多く逆に受け手が少ない担い手不足が要因であり、引き続き関係機関と連携し更なる周知を図っていきます。

### 要望事項

縦割り行政の関係機関と連携していくために必要なのは、つなぎ役となる人や団体だと考えます。全国の事例を見ると、地域のリーダー、農協関係、役所職員のOBの方々がその役目を担ってくれています。つなぎ役となる方の確保をお願いいたします。

4:22:00頃から

YouTube

名張市議会  
足立よしえ一般質問



令和4年6月第404回定例会

2022年6月議会

## 地域活性化起業人制度



### 現状

総務省は2021年度から都市部の会社員を全国の自治体に派遣し、地域活性化に役立つ新事業に乗り出しました。民間のノウハウを地方行政に生かすとともに新型コロナウイルス禍で仕事を失った人材の受け皿としても活用したい考えのようです。

**Q.** 民間の視点を取り入れたい自治体側と地方と繋がりを持ちたい企業側の双方に利点がある「地域活性化起業人」制度は、総務省も積極的な利用を呼び掛けています。本市は受け入れ可能団体ですが、今後の予定は。

**A.** 自らの地域の未来に希望を持ち個性豊かな潤いのある地域社会を形成するため、官民が連携し地域全体で取組を展開していくことが今後ますます重要になってきます。解決したい地域課題を始め、企業側に求める業務内容、地域おこし協力隊との連携や住み分け、市の受け入れ態勢や支援体制など整理すると共に、他の自治体の事例調査研究を深める中で今後の課題として具体の検討を進めていきます。

### 要望事項

地域活性化起業人には、観光やICTなどの情報分野の企業出身の方も多くいらっしゃいますが、中にはエネルギーの研究をしている企業出身の方もいらっしゃいます。未来を見据えて検討していただけると嬉しいです。

4:25:20頃から

YouTube

名張市議会  
足立よしえ一般質問



令和4年6月第403回定例会

皆様からのご意見、  
ご要望をお待ちしています。  
<https://www.adachiyoshie.jp>

発行：会派「喜働(きどう)」  
住所：名張市鴻之台1番町1番地  
電話番号：090-3564-5380 (川合滋 直通)  
：090-7898-9453 (足立よしえ 直通)



足立よしえ

検索



@yoshieadachi



▲ホームページ